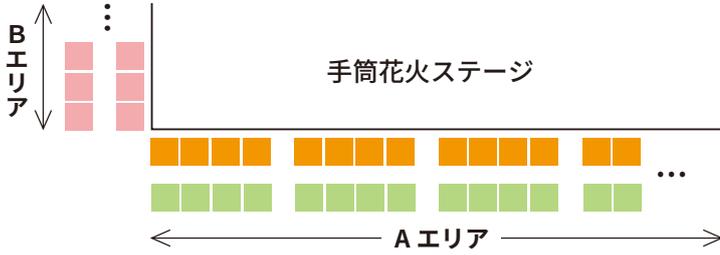


備後国府まつりは6月6日(土)に開催！ 有料観覧席で大迫力の手筒花火を



- 席の詳細** ▶ 前後2列のパイプいす席で、約250席
- ▶ 4席ごとに通路を設けます ▶ 席の前のスペースは120cm
 - ▶ 別途車いす席(縦・横幅ともに240cm)あり
 - ▶ 三脚使用可、脚立使用不可 ▶ 席の位置は抽選で決定
 - ▶ 未就学児のみ大人の膝の上での観覧可

1席あたりの料金

	Aエリア	Bエリア
前列	■の席 3,000円	■の席 2,000円
後列	■の席 2,000円	※前・後列は 選べません



二次元コードまたは
ジーベックホール
(☎45-6000)



まつりを一緒に盛り上げましょう！

屋台・キッチンカーの出店者、パレード・
おどりカーニバルの参加者を募集します。
詳細は備後国府まつりHPなどで随時お知らせします。



備後国府まつり実行委員会事務局 (☎45-0678)

備後国府まつりHP▶

ふちゅう 歴史散歩 Vol.180

耳元に彩りを！

～アクセサリーは時代を超えて～

教育政策課 (☎44-9024)



矢谷4号古墳から出土した耳環3点



左) 耳環を着けた古墳時代の人のイメージ
右) 現代のイヤークフ

最近人気のある「イヤークフ」をご存知でしょうか？耳に穴をあけずにオシャレが楽しめるアクセサリーです。リング状のデザインが多く、耳の軟骨や耳たぶに挟むようにして着けます。

古墳時代から飛鳥時代の人々も「耳環」と呼ばれる金属製耳飾りを着けていたようです。金や銀、銅などを使ったものや、銅や鉄のリングに金や銀のメッキを施したものもあります。リングの1カ所だけ切れた部分があり、ここで耳たぶの両側を挟んで使ったのでしょう。装飾だけでなく、社会的身分を示す役割や魔除けの意味もあったと考えられています。府中市内でも矢谷4号古墳(三郎丸町)、樋口2号古墳(河南町)から耳環が出土しています。

形はどこか現代のイヤークフに通じるものです。耳元を彩りたい気持ちは、今も昔も変わらないのかもしれないですね。